

忠海まちづくり通信

Efforts To Attractive TADANOUMI

平成29年7月1日

第4号

発行：竹原市建設部都市整備課
TEL 0846-22-7749

忠海のまちをよりよいものにするために、この通信では、まちづくりの話合いの経過報告を中心に、忠海のまちづくりの取り組みについて、地域の皆さまに情報発信していきます。

忠海の魅力あるまちづくりにむけて 第2回ワークショップを開催しました!!

テーマ
忠海の将来像 ここにしかない風景・大切にしたい風景をつくるためにできること



去る6月10日、忠海プロジェクトの次のステップとして、「忠海の将来像 ここにしかない風景・大切にしたい風景をつくるためにできること」をテーマに、第2回ワークショップを開催し、多くの皆さまにご参加いただきました。[参加者：約30名]
ワークショップでは、どんなまちであってほしいか、どんな光景を見たいか、を共有し、そのために参加者の皆さまが自らができるプロジェクトのアイデアについて、熱い思いを共有しました。

プログラム

13:00 開会／本日の説明

13:05 参加者自己紹介

13:10 ①前回の振り返り

前回ワークショップ(まち歩き)で出た意見をおさらいし、みなさんの意見から共通点を整理し、大切にしていることを共有しました。

13:25 ②忠海の将来像・イメージの共有

「どんなまちであってほしいか」、「どんな光景を見たいか」について参加者一人ひとりの考えを発表し、全員で共有しました。

14:25 休憩

14:35 ③将来像実現のための方法の検討

将来像実現のために「自分が何をしたいか」について、忠海の資源を基に具体的なアイデアを出し、みなさん自らが行うプロジェクトを検討しました。

15:25 ④アイデアのプロジェクト化

具体的にどんなプロジェクトにしたいか、プロジェクトに分かれて、具体化のための意見交換を行いました。

16:00 閉会



Topic01 前回の振り返り

第1回ワークショップ・アンケートの意見・想いから見る 大事にしたい忠海の資源の整理

第1回ワークショップ(まち歩き)で参加者の皆さんからいただいたご意見や、講演会のアンケートにいただいたご意見から、「忠海の素敵なおとこ」「忠海の大いにしたい資源」への皆さんの想いを、大きな4つの視点を持って、以下に整理しました。

視点

ここにしかないもの

残ってきたもの

自慢できるもの

心の拠り所

大切にしたい資源

忠海ならしめている自然

海

瀬戸内、海岸線、宮床、忠海港

山

黒滝山をはじめとする山々

多島美

瀬戸内らしい景色

豊かな水

波の音、きれいな水、美味しい魚

残していきたいまちの表情・資産

海や山を臨む景色

内堀公園周辺の景色

街並み・路地

誓念寺周辺などの昔の面影を感じられる街並み、細い路地、かぐや姫通り、ドンドロ坂

水路

自然と暮らしてきた痕跡

お寺・神社

弁財天、本立寺・かぐや姫美術館、誓念寺の石垣など

歴史のある古民家

田窪別邸、恩田邸、みはらし旅館など

引継ぎ、伝えたいまちの個性や物語

祭り

宮床まつり、忠海祭り、神明祭り等

湊町としての歴史

内堀、海を感じるまち

地域に根付いた産業

ジャム、手袋、時計

まちの規模

小さな個人商店が残る暮らしやすいまち



Topic02 忠海の将来像・イメージの共有

忠海でどんな光景を見たいか?



将来像・イメージのイメージアップ

将来像・イメージを共有するため、180枚の写真やことばのカードをヒントに、「忠海で見たい光景」について考えました。



どんな光景が見たいか、具体的に考える

具体的に、「誰が」、「いつ」、「どこで」、「〇〇している」光景を見たいかについて考えました。具体的な光景を想像することで、何を大切にしたいか、どんなまちであってほしいか、それぞれの価値観をイメージアップしていきました。



将来像・イメージの発表・共有

地域の子供、高齢者、家族連れ、学生、忠海に繋がりを持つ若者、観光客、外国人など様々な意見が出ました。人同士や地域との自然なつながりが見える光景、まちを味わい思い思いの時間を過ごす光景など、忠海の豊かな将来像を共有しました。

このプロジェクトでは、参加する皆さんに守っていただきたい3ヶ条を基にワークショップを実施しています!

《鉄の三ヶ条》

- 売 自らが実践する、手を動かす
- 式 自立・継続することを前提にする
- 参 価値観を共有し、それぞれの役割を果たす

Topic03 アイディアのプロジェクト化

将来像実現のために自らができるプロジェクトアイデアとは?



将来像実現のために 自らができることを具体的に考える

どんな光景を見たいか?を通して出てきた将来像・イメージを実現するため、「どんな忠海の資源を活用して」、「誰を対象に」、「何をするか」、について自らができるアイデアを各自考えました。



自らができる・やりたいプロジェクトの アイデア発表・共有

参加者の皆さま全員に、将来像を実現するために「どんなプロジェクトをやりたいか」のアイデアについて発表いただきました。それぞれが考えている「やりたいこと」を共有し、自らができることを改めて考えました。



やります!を宣言 アイデアのプロジェクト化

発表されたアイデア一つ一つを見ながら、自らがやるプロジェクトを宣言しました。宮床海岸や海辺、西小跡、内堀公園や古民家活用プロジェクトが進む吉田屋、空き家(古民家含む)や空き地などを活用したアイデアが多く、プロジェクト化へのステップに繋がります。



プロジェクトアイデアについての 意見交換

宣言のあったプロジェクトや連携できそうなプロジェクトを中心にグループに分かれて、アイデアについての意見交換を行いました。今後は、チームで、個人でなど、実施プロジェクトの立案を行っていきます!